



## 図書館 (2012年)



## 図書館 (2012年)



## Space Syntaxによる空間分析



## 居場所を決める要素

視界 (View)  
見晴らし (Vista)  
全景 (Scene)

空間の持つ眺望や隠れ場所による二元的側面  
対称性や複雑性のバランスで居心地感覚は変化



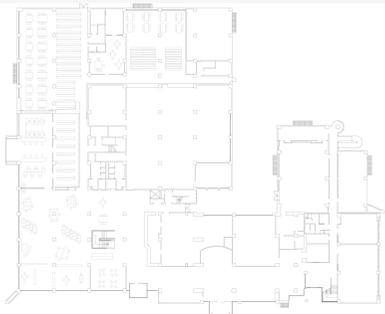
## 図書館改修前の空間分析



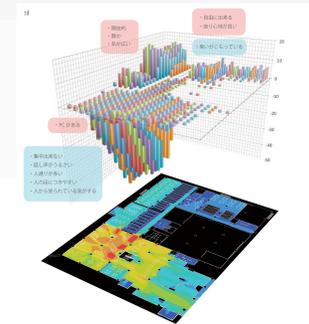
## キャンパス空間分析 「和歌山大学前駅」以後



## 図書館1F 改修前

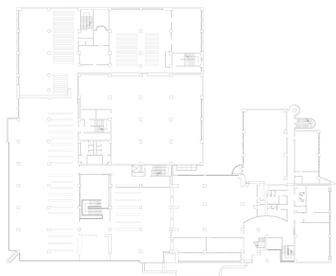


## 図書館1F改修前 Connectivity

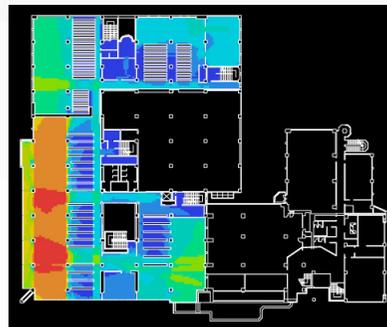




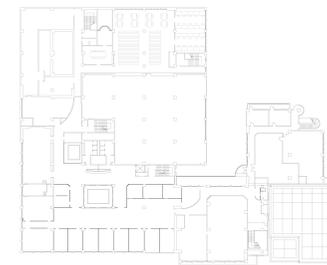
## 図書館2F 改修後



## 図書館2F 改修後 Conectivity



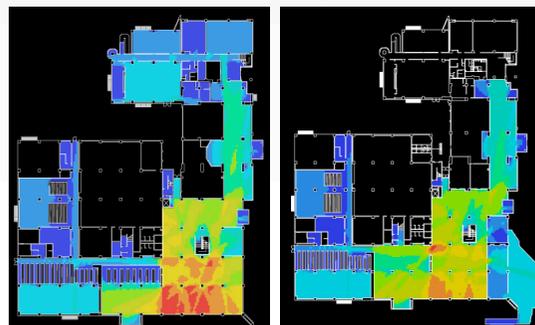
## 図書館3F 改修後



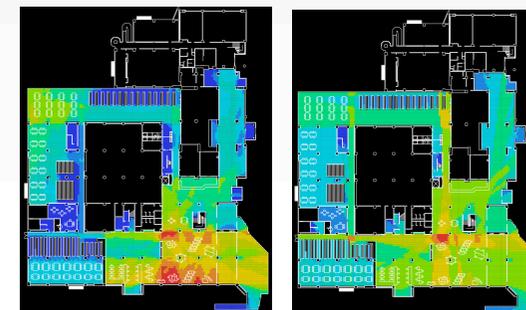
## 図書館3F 改修後 Conectivity



## 図書館1F Conectivity改修前後の比較



## 図書館増築の検討



## キャンパスアメニティに向けて



### アメニティ向上のために

計画者目線から利用者目線へ

- 多くのラーニングcommonsやしつらい空間は計画者の意図に反して学生に利用されていない
- 利用者（学生）のライフスタイルの移り変わりや行動選択の基準を見極める必要

色彩コーディネートは空間の印象を決める

- 什器の入れ替えや大規模な改修は金額的に大きな負担。色彩のコーディネートによるしつらい空間の改善は有効

定量化と理論に基づく客観的な分析手法の導入

- 色彩分析や空間分析等、第三者にもわかりやすく明示的な根拠を示すことができる分析・調査を行うことで合意形成を容易に



### 図書館の居場所を高めるために

学生の居場所＝キャンパス・サードプレイスの整備

- 大学キャンパス、図書館は学習や研究だけの施設ではない
- 学生同士の交流や学際領域の活動を通じて学びを体現

図書館に求められる機能とサービス

- ファシリティ（物理的な施設）とアメニティ（心地よい居場所）の2つを提供する必要

